

# 四日市市議会

## 提言シート

(1) 防災備蓄品の見直しと市民への啓発について

---

(2) 介護認定にかかる日数短縮に向けた手法の調査研究について

---

(3) 公園、緑地等の維持管理のあり方について

---



令和6年9月24日

○ 四日市市議会提言シート

— 目次 —

- (1) 防災備蓄品の見直しと市民への啓発について … P 3
- (2) 介護認定にかかる日数短縮に向けた手法の調査研究について … P 4
- (3) 公園、緑地等の維持管理のあり方について … P 5

※備考

各提言シートの末尾に、参考として、以下の分類に基づく決算常任委員会における事業実施に関する意見を付記した。

【事業実施に関する意見】

分類	備考
①廃止	次年度事業費予算に関連するもの
②縮小	
③拡大	
④新規事業の実施	
⑤その他	事業実施手法の見直し など

# 四日市市議会提言シート

## ～次期予算編成に向けて～

(令和6年8月定例会議会 決算常任委員会)

No. 1

<b>事業名</b>	防災備蓄品の見直しと市民への啓発について	
<b>事業概要</b>	安島防災備蓄倉庫、北部拠点防災倉庫、南部拠点防災倉庫などを災害初動期における防災拠点として整備し、災害支援物資や防災資機材等を備蓄しており、これらの資機材の整備、備蓄物資の更新、資機材の点検や施設の保守管理を行う。 また、災害に強いまちづくりの一環として、市内各所に設置した防災倉庫への備蓄食料や救出救護用資機材の整備、更新や、これらの保守管理を行う。	
	決算額	防災倉庫管理費：25,090,887円
<b>次年度予算への提言</b>		
<p><b>&lt;提言&gt; 防災備蓄品の見直しと市民への啓発について</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>令和6年能登半島地震の教訓を生かし、自助として家庭などでの備蓄について市民への周知を図ること。</li><li>行政として、備蓄品の見直しや拡充を検討するとともに、それらを保管する場所が不足するのであれば、新たな保管場所の調査と検討を進めること。また、その際には、補助金制度等を活用した家庭での保管という手法についても検討すること。</li></ol> <p style="text-align: right;">※参考 事業実施に関する意見 ③拡大</p>		

# 四日市市議会提言シート

## ～次期予算編成に向けて～

(令和6年8月定例会議会 決算常任委員会)

No. 2

<b>事業名</b>	介護認定にかかる日数短縮に向けた手法の調査研究について	
<b>事業概要</b>	<p>介護保険制度では、寝たきりや認知症等で常時介護を必要とする状態（要介護状態）になった場合や、家事や身支度等の日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態（要支援状態）になった場合に、介護サービスを受けることができる。</p> <p>この要介護状態や要支援状態にあるかどうか、その中でどの程度かの判定を行うのが要介護認定（要支援認定を含む。以下同じ）であり、保険者に設置される介護認定審査会において判定される。</p>	
	<b>決算額</b>	<p>介護認定審査会費 103,980,567 円 認定調査費 119,567,068 円</p>

### 次年度予算への提言

#### <提言> 介護認定にかかる日数短縮に向けた手法の調査研究について

1. 高齢化に伴い、要介護認定の申請の増加が想定される中で、職員や調査員の業務効率化を図り、市民の利便性を向上させるため、介護認定にかかる日数の短縮に向けた調査研究を行うこと。
2. 調査研究にあたっては、申請のオンライン化、AIを活用した調査票の整合性の確認、認定調査員が直接入力できるシステムなどについても、調査事項に加えること。

※参考 事業実施に関する意見 ③拡大

# 四日市市議会提言シート

## ～次期予算編成に向けて～

(令和6年8月定例会議会 決算常任委員会)

No. 3

<b>事業名</b>	公園、緑地等の維持管理のあり方について	
<b>事業概要</b>	地元自治会、公園愛護会、市民緑地管理団体、シルバー人材センターといったこれまでの公園、緑地等の管理、運営の担い手の高齢化が進み、維持管理が困難となってきたことから、ボランティア団体等にインセンティブを提供する等、活動に参加しやすくなる維持管理の制度を構築する。	
	<b>決算額</b>	市民に親しまれる公園ボランティア支援事業費 3,605,487円 里山保全事業費 5,132,370円 公園施設管理費 596,311,991円（県支出金 4,988,500円、その他特財 19,837,746円）

### 次年度予算への提言

#### <提言> 公園、緑地等の維持管理のあり方について

1. 担い手の高齢化が進み、公園・緑地等の維持管理が困難となっているため、市が主体となって委託の拡充など必要な取組を実施した上で、住民、企業がより協力しやすい公園の維持管理と市民協働による里山保全について、有償ボランティアに関する制度づくりなどを検討すること。
2. 企業や団体が行う公園の維持管理に対して、公園の利用許可や看板の設置等のインセンティブの導入を検討すること。
3. 活動団体への支援については、活動に必要な機械等もその対象とするなど、拡充を検討すること。

※参考 事業実施に関する意見 ④新規事業の実施